

名大と岐阜大統合調印

国立大初の複数経営に

名古屋大(名古屋市)と岐阜大(岐阜市)は25日、運営法人の統合に向けた基本合意書を締結した。文部科学省が掲げる国立大の「1法人複数大学方式」で初の事例となる見通し。文科省は同方式の導入を盛り込んだ国立大学法人法改正案を来年の通常国会に提出する方針で、成立すれば2020年度にも両大学を傘下に置き経営を担う新法人「東海国立大学機構」が誕生する。

運営効率化による教育や研究分野での競争力強化が狙い。国立大学法人の統合

を巡っては、道内で帯広畜産大、小樽商科大、北見工大が22年4月の統合を目指しているほか、静岡県と奈良県のそれぞれ2大学が検討を進めている。県境を越えた統合は名古屋大と岐阜大のみ。